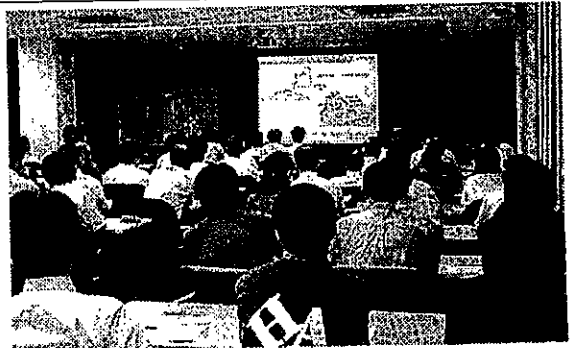


大工名 改善活動の成果発表 工場長養成塾で講演会

名古屋工業大学は29日、同大学構内で製造現場において問題点を気付ける力を養う「工場長養成塾」の講演会を開催した。同塾生OB企業が、受講した学習内容を生かした改善活動に取り組んだ成果などを発表。中小企業経営者ら約100人が集まった。

講演会では、デンソージャパンの秋野幸一社長が、「デンソー内における活動内容などを紹介。『粘り強く、地道に人材育成を継続すれば人は育っていく』と話した。その他、同塾推進プロジェクトリーダーを務める豊田自動織機の磯谷智生顧問や、富士電機サーモシステムズ(鈴鹿市)の深見肇社長が講師を務めた。同塾は07年度から開講。受講対象者は中堅・中小企業の工場長、製造部門長で、製造現場に共通する問題と改善方法をゼミや実習、



工場見学を通じて学ぶ。今年、今年9月

5・7341)まで。

参加した中小企業経営者らは熱心に関わり入っていた

から来年3月まで、

申込締切日は7月3日。

問い合わせは同大・工場長養成塾(電話052・73